

No.	1	2	3
事業名	南区健康長寿推進プロジェクト	南区子どもウェルビーイングシステム事業	個に応じた最適な事業・サービスなどをプログラムとして提供する体制の構築
所管課	南保健センター	南・子育て支援課	南保健福祉総合センター
目的	市民主体の健康づくり等の取り組みを実施し、生活習慣病予防や重症化予防を図り区民の健康レベルの向上につなげる。また、誰一人取り残さない、個に寄り添った「最大多様・最大幸福」のサービスを提供する。	・子ども虐待の未然予防に重点をおき、子育て世代の子ども虐待に対する意識のボトムアップを図る。 ・子どもの成長過程において切れ目のない包括的な支援を提供する。	南区民による事業への関心や課題意識の向上、事業参加・健診受診・サービス利用の拡大
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「みなみ健活キャラバン」の実施。多くの区民が来場するイベント等で啓発の機会が少ない18歳から64歳までの若い世代や健康無関心層、ハイリスク者へのアプローチを関係機関と連携し実施する。 ・運動習慣や介護予防等に関する各種事業や健康相談の実施 ・健康に関する情報発信 ・テレビ通訳の活用、子育て健康に関する資料の翻訳等による外国人区民への情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを支援 ・子どもの自己肯定感、自己有用感の向上を支援するプログラムを展開すると同時に、プログラムを展開できる職員のスキルの向上にも取り組む。 ・養育者への支援 ・法改正で禁止された体罰についての理解を促し、子どもの安心安全が守られることでウェルビーイングが向上することを理解し、養育者自身が安心安全の中での子育てができるように支援していく。 ・学校等・地域支援者へ支援 ・区内教育機関等と子ども支援に取り組む『南区子どもサポートプラットフォーム』において、区内教育機関との連携を強化し、地域支援者と情報共有することによって地域の子どもの支援につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南区民のウェルビーイングにつながる子育て、健康長寿に係るプロジェクトや事業を精査して、世代や属性別に体系化・データベース化し、南区役所内関係機関で共有する。 ・南区民のニーズや課題に応じてウェルビーイングの実現をサポートするため、南区役所内関係機関がデータベースから事業・サービス等をプログラムとして区民に提供する。
令和5年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「みなみ健活キャラバン」を5月21日の「みどりのつどい」、10月22日の「SENBOKU スマートシティフェスタ 2023」にて実施。今後、12月と3月に実施予定。 ・新規事業「肺トレ講座」を7月7日、「フレイルばいばい はじめよう太極拳」を8月16日、23日に実施。その他運動習慣や介護予防等に関する各種事業や健康相談を実施。 ・健康に関する情報発信として、10月16日から11月12日まで南区内の泉北高速鉄道の3駅の泉ヶ丘駅、榎・美木多駅、光明池駅で、注目をしていただけるよう工夫した2次元コード付きのポスター掲示。 ・最近増加傾向にあるベトナム人をはじめとした外国人の方への情報提供の強化のため、テレビ通訳システムなどICTを活用するとともに、子育て・健康に関する資料の翻訳を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの支援 南区内小中学校など関係機関と連携しながら、子どもの自尊感情や自己有用感を高める「生き抜く力を育てるワークショップ」を開催。認定こども園の5歳児クラスの児童などに感情のセルフコントロールやコミュニケーションの取り方などを学んでいただく「セカンド・ステップ事業」を8園で実施決定。 ・養育者への支援 全9回の「ポジティブ・ディシプリン プログラム」を5月～と9月～の2クール開催。6月30日に「泉北 de 子育て！子どもの育ち応援セミナー」、6月16日・9月7日に「大人ママほっとルーム事業」、5月に「南区ぱぱてらすオンデマンド講座」を実施・開催。 ・学校等や地域支援者への支援 7月31日、12月19日、令和6年1月26日に「南区内教育機関との連携研修」を開催。 	<p>「南区民のウェルビーイングにつながる子育て、健康長寿に係る事業・サービス」などについて庁内及び南区役所内保健福祉関係機関への照会・集約を実施。</p> <p>そのデータを南区役所内保健福祉関係機関で共有し、堺市の「電子申請システム」の「手続き判定ナビ」の機能を活用して区民へ情報提供する方向で検討を進め、各機関からメンバーを選抜して「南区ウェルビーイング総合プロジェクト推進チーム」として実務作業を行う体制を構築。</p>
課題	「みなみ健活キャラバン」でこれまで南保健センターが接する機会の少なかった方とより多くの接点を持てるような開催場所の選定が課題となる。テレビ通訳システムについては、外国人妊婦等の増加に伴い、利用時間の増加も予測されるため、体制を確保する必要がある。	南区内小中学校などとの連携体制が構築されつつあるが、現在、「学校を休みがち」であったり「学校に通えていない」など、登校に不安のある児童生徒、いわゆる不登校児童・生徒への支援体制が南区では不足しているため、今後整備する必要がある。	事業・サービスをデータ化して共有するだけでは、適切に区民のニーズや課題に応じて提供できる体制が整っているとはいえない状態であるため、南区役所内保健福祉関係機関が行政や法人など組織の垣根を越えて、窓口で同じ情報を共有し、適確に検索して区民へ情報提供できるよう、窓口環境の整備等を行う必要がある。
今後の展開	「みなみ健活キャラバン」の開催場所を精査していく。ベトナム語等のテレビ通訳システムの活用時間を増やすための予算を確保するなど、さらなる充実を図る。	「南区子どもサポートプラットフォーム事業」をさらに強化し、不登校者が地域で定期的に通える場の開拓や情報提供等を行い、規則正しい生活リズムを身に付けたり、外に出るきっかけや家族以外とコミュニケーションをとる機会を設けるなど、子どもたちが現状を変えたり元気を取り戻すことをサポートする「子どもの居場所支援」を行う体制を構築する。	「南区ウェルビーイング総合プロジェクト推進チーム」で「電子申請システム」の「手続き判定ナビ」の機能を活用した検索システムの構築作業を進める。ICTを活用して窓口機能を強化するなど、南区役所内保健福祉関係機関が区民へ適確に情報提供できる環境を整備する。